

熊野町立熊野東中学校第1学年 国語科学習指導案

単元名：朗読で伝えよう「あの坂をのぼれば」 杉みき子

指導者：熊野町立熊野東中学校 谷崎 栄子

- 1 日時 : 平成25年12月11日(水) 第2校時 9:50~10:40
- 2 場所 : 1年1組教室
- 3 学年・学級 : 第1学年1組(男子19名 女子13名 計32名)
- 4 単元名 : 朗読で伝えよう「あの坂をのぼれば」 杉みき子

1 単元観

本単元は、中学校学習指導要領国語(平成20年、以下「指導要領」とする。)第1学年「(1) C読むこと」の「ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。」を受けて設定している。

中学校学習指導要領解説国語編(平成20年、以下「解説編」とする。)には、「ウは、主として文学的な文章の解釈に関する指導事項である。文学的な文章を読むためには、言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、視点を定めて読むことが必要であり、そのことによって深い理解や感動が得られる。」と述べられ、「文章の中の時間的、空間的な場面の展開、登場人物の心情や行動、情景描写などに注意して読み進めることが大切である。」と述べられている。

本単元では、上記の事項を指導するために、「あの坂をのぼれば」(杉みき子)を教材として設定する。

「あの坂をのぼれば」は、少年の心を捉えて離さない「——あの坂をのぼれば、海が見える。」というフレーズが繰り返され、そのとき、そのときの少年の気持ちや少年の姿が描かれることによって構成されている。読者は、目的に向かって苦しみ、あえぎ、時には挫折しそうになる気持ちを奮い立たせて歩んでゆく少年の姿に共感しながら読み進めていくことができる教材である。表現の特色としては、短い文で少年の姿や気持ちが簡潔に描写されており、その中に直喩や隠喩、反復法や倒置法など、表現の技法が効果的に用いられている。表現の技法の意味や効果を手掛かりにし、少年の心情を推論していくことができる教材である。また、短い文を連ねたりズミカルな文章は、朗読によって読みを深めるためにふさわしい教材であるといえる。

2 生徒観(調査結果からみる課題)

平成25年度広島県「基礎・基本」定着状況調査において、通過率30%未満の生徒と30%以上の生徒の差が最も大きくなっているのは「読むこと」の領域である。その中で、登場人物の心情の把握をみる問題は、平成21年度から4年間継続的に通過率が60%未満であり、平成25年度では65.2%と改善したものの、依然として広島県の継続した課題であるといえる。平成25年度の本校における心情の把握をみる問題の通過率は85.4%であったが、正答率は64.6%、無回答率は4.6%であり、心情を把握することが十分に身に付いているとはいえない。また、平成25年度全国学力・学習状況調査中学校国語の結果を見ると、比喩を用いた表現についての理解をみる問題の正答率は、全国で53.2%、広島県で50.8%であり、本校においても47.9%と極端に低く、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の中でも大きな課題であるといえる。

3 指導観(指導改善のポイント)

2の課題を踏まえ、本単元では、表現の技法に着目させ、表現の技法の分析から登場人物の心情を把握させる

指導を行う。その具体的な手立てとして、朗読を言語活動に設定し、評価ルーブリックを生かした朗読のための読解ワークシートを用いて学習活動を行う。

評価ルーブリックを生かした朗読のための読解ワークシートとは、生徒に学習の過程を段階的・視覚的に示すと同時に、どうしてそのように朗読しようとするのかという理由を細分化して、根拠となる文章中の表現の技法に着目させることができるよう工夫したワークシートである。また、このようなワークシートを用いることで、教師が生徒の学習の進捗状況を段階的に見取り、複数の教師が評価する場合であっても判断基準が統一できるようにする。

具体的には、朗読を行うために、登場人物の心情を把握する学習活動を、根拠となる表現の技法を理解する段階、表現の技法を分析する段階、分析の内容と心情を関連付けて推論する段階に分けて行う。このような活動を行うことで、生徒は、前後の文脈を捉えて表現の技法の効果や意味を分析する方法を理解することができ、表現の技法の分析を基に推論することによって、心情を把握することができる考えた。また、班活動を適宜取り入れることで、生徒が相互に分析や推論の妥当性について考える機会ももたせたい。なお、表現の分析や心情の推論がうまくできていない生徒には、分析の着眼点等を示したヒントカードを配付して、学習を支援する。

4 単元の目標と評価規準

単元の目標

- 表現の技法の用法と名称を結び付けて理解する。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(オ)〕
- 表現の技法の意味や効果の分析を基に心情を把握する。〔C読むこと ウ〕

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
単元を貫く言語活動		
文学的な文章を朗読する言語活動を通じた指導。(言語活動例ア)		
①朗読の工夫を考えるための活動に意欲的に取り組もうとしている。 ②自分の考えた朗読の工夫を意欲的に実践しようとしている。	①表現の技法の効果から、作者の意図や「少年」の心情を推論して把握し、朗読の工夫を考えている。 ②本文の解釈の妥当性を考えて、朗読の工夫を評価している。	①比喻や反復などの表現の技法を理解している。

5 単元を貫く言語活動の特徴

「解説編」は、朗読について、「文章の内容についての理解を深めたり、感じたことや考えたことを声に表したりすること」をねらいとし、「作品の形態や特徴を生かしながら朗読することを通して、文章の理解を一層深める活動を行うこと」と述べている。したがって、朗読は、表現の技法に着目し、登場人物の心情をより具体的に把握するという本単元の目標を達成するためにふさわしい言語活動であるといえる。

6 指導と評価の計画

全6時間（本時は3／6）

次	時	学習内容（時数）	主な学習内容			評価方法	
			関	読	言		評価規準
一	1	朗読で伝えるための学習について見通しをもつ。本文を通読し、あらすじを捉える。	◎			朗読の工夫を考えるための活動に意欲的に取り組もうとしている。	学習の手順確認ワークシート
二	2	ワークシートを用いて、朗読する場面から表現の技法が用いられている部分を抜き出し、表現の技法の効果を分析して、「少年」の心情を推論する。		◎	○	比喩や反復などの表現の技法を理解している。 表現の技法の効果から、作者の意図や「少年」の心情を推論して把握している。	朗読のための読解ワークシート
	3	把握した心情を基に、朗読の工夫を考える。同じ場面を読む相手とワークシートを交換して相互評価し、記述内容を見直して加筆・修正する。	○		◎	朗読の工夫を考えるための活動に意欲的に取り組もうとしている。 本文の解釈の妥当性を考えて、朗読の工夫を評価している。	朗読のための読解ワークシート
	4	班員同士でワークシートを交換して相互評価し、記述内容を見直して加筆・修正する。班で朗読発表のための準備・打ち合わせをする。	○		◎	朗読の工夫を考えるための活動に意欲的に取り組もうとしている。 本文の解釈の妥当性を考えて、朗読の工夫を評価している。	朗読のための読解ワークシート
三	5	二班一組で朗読を発表し、着目した表現技法とその分析、推論した心情について比較しながら聞き、相互評価する。	○		◎	自分の考えた朗読の工夫を意欲的に実践しようとしている。 本文の解釈の妥当性を考えて、朗読の工夫を評価している。	相互評価シート
	6	物語の展開と登場人物の心情の変化を確認し、「坂」と「海」の比喩から主題を考えて記述する。			◎	比喩や反復などの表現の技法を理解している。	まとめワークシート

7 本時の展開

(1) 本時の目標

同じ場面を朗読する他の人とワークシートを交換し相互評価することによって、表現の技法の分析・心情の推論・朗読の工夫を比較し、本文の解釈の妥当性を考えることができる。

(2) 観点別評価規準

◎本文の解釈の妥当性を考えて、朗読の工夫を評価している。

○朗読の工夫を考えるための活動に意欲的に取り組もうとしている。

評価方法：朗読のための読解ワークシート

(3) 準備物

朗読のための読解ワークシート・付箋・ヒントカード・国語辞典

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項及び評価 (○) (努力を要する生徒への指導と手立て◆)
導入	<input type="checkbox"/> 各自で朗読を練習する。	○推論した心情を表現するための読みを意識させる。 ○前時に回収して、必要に応じ助言を書き加えたワークシートを返却する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【本時の目標】 他の人と分析・推論・朗読の工夫を比較し、自分の朗読の工夫に生かす。 </div>	
	<input type="checkbox"/> ワークシートを各自で見直し、本時の学習活動の見通しをもつ。	◆ワークシートの進捗状況に応じて、主な表現の技法や、分析の方法、心情の推論の仕方について書かれたヒントカードを配付する。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">個人思考</div> <input type="checkbox"/> ワークシートを用いて、朗読する場面の読解を進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・朗読の工夫を考えるために、表現の技法を見付けて、その効果を分析する。 ・表現の技法について分析した結果を基に、作者の意図や「少年」の心情を推論する。 ・把握した少年の心情を基に、朗読の工夫を考えて記述する。 	○グループ学習の時間を予告し、個人活動の時間の見通しをもたせる。 ○分析する際に国語辞典が活用できるよう用意しておく。 ◆机間指導により、補助する。 ◆必要に応じてヒントカードを配付する。
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> 【言語活動の充実】 根拠となる表現の技法の意味や効果を分析し、心情と関連付けて推論した内容を基に記述。 </div>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">集団思考</div> <input type="checkbox"/> 同じ場面を読む者同士で4人班を作り、ワークシートを交換して相互評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを回して読み合う。 ・最後に回ってきたワークシートに、分析・推論・朗読の工夫について良いと思った点、よりよくなると思った点を書いた付箋を貼る。 	○表現の技法の分析と「少年」の心情についての推論が、工夫と関連付けられているかを互いに確認させる。 ○場面ごとに心情の根拠となる表現の技法を確認させ、分析や心情の推論ができていないところを互いに助言させる。 ◆机間指導により、グループ活動を補助する。場合によっては、活動をいったん止め、学級全体に心情の根拠となる主な表現の技法について指導する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">個人思考</div> <input type="checkbox"/> 付箋を読んで、ワークシートの記述内容を見直し、本文の解釈の妥当性を考えて加筆・修正する。 <input type="checkbox"/> 自分の学習活動の進捗状況を判断して、ワークシートによる読解を進める。	○付箋に書かれていなくても、自分で気付いたことがあれば記入させる。 ○記入を終えた生徒には、朗読を練習させる。 ◆机間指導により、補助する。	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> 【4人班の活用】 意見交流による他の意見との比較。妥当性の検討。 </div>		

まとめ	<p>□ワークシートを各自で見直し、次時の学習活動の見直しをもつ。</p> <p>□本時の活動を振り返り、振り返りシートに記入する。</p> <p>□ワークシートと振り返りシートを班で集めて提出する。</p>	<p>○ワークシートの進行状況から、各自の課題と成果を捉えさせる。</p> <p>○目標に対して、学んだことを振り返りシートに記述させる。</p> <p>○授業後、回収したワークシートの記述から、解釈の妥当性に課題がある生徒の改善状況を把握し、必要に応じて助言を書き加える。</p>
-----	--	---

8 ワークシート (例)

朗読のための読解ワークシート

	<p>★ 国語科「学年」あのを坂をのぼれば「杉みき子」(一年(一組)(一番))</p> <p>★ 表現技法に「目撃」「少年」の心情を推論して、朗読の工夫を記述しよう。</p>	<p>1 朗読の工夫</p> <p>2 心情の推論</p> <p>3 表現技法</p> <p>4 分析</p> <p>5 推論(分析後)</p>
	<p>★ 朗読の工夫</p> <p>1 朗読の工夫</p> <p>2 朗読の工夫</p> <p>3 朗読の工夫</p> <p>4 朗読の工夫</p> <p>5 朗読の工夫</p>	<p>1 朗読の工夫</p> <p>2 朗読の工夫</p> <p>3 朗読の工夫</p> <p>4 朗読の工夫</p> <p>5 朗読の工夫</p>

ヒントカード

	<p>★ 国語科「学年」あのを坂をのぼれば「杉みき子」(一年(一組)(一番))</p> <p>★ 表現技法に「目撃」「少年」の心情を推論して、朗読の工夫を記述しよう。</p>	<p>1 朗読の工夫</p> <p>2 心情の推論</p> <p>3 表現技法</p> <p>4 分析</p> <p>5 推論(分析後)</p>
	<p>朗読の工夫</p> <p>1 朗読の工夫</p> <p>2 朗読の工夫</p> <p>3 朗読の工夫</p> <p>4 朗読の工夫</p> <p>5 朗読の工夫</p>	<p>朗読の工夫</p> <p>1 朗読の工夫</p> <p>2 朗読の工夫</p> <p>3 朗読の工夫</p> <p>4 朗読の工夫</p> <p>5 朗読の工夫</p>